

第629号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



# たかぎ

発行日 2021年8月16日  
 発行責任者 喬木村公民館長 徹  
 市瀬 公民館編集部 長  
 編集責任者 仲田久志  
 印刷 龍共印刷株式会社

## 新議員だ 聞きまわった！(議席番号順)

※各議員の回答をそのまま掲載しています

六月に行われた村議選は定員に満たず、無投票で一〇名が当選となった。候補者が選挙戦を通して自分の主張を述べる機会がなく、村民の皆さんが候補者の考えを聞くことができなかった。そこで、公民館編集部では、左記の問いについて各議員に聞き、館報で紹介することに。議員の皆さんの考えを知り、議会への関心を高めたい。

おがはらみちほ  
**小川原美智穂(60)**  
 阿島北 無・1期



問1

・三遠南信自動車道とリニア中央新幹線工事起因する環境問題  
 ・人口減少、少子高齢化  
 ・苺狩り以外の観光資源の創生  
 ・三遠南信自動車道とリニア中央新幹線開通後の未来構想

問1：現在、喬木村が抱える重要課題を挙げてください。(五項目以内)  
 問2：今回、立候補を決意された理由は何ですか。また、四年の任期中に、力を入れて取り組みたいことは何ですか。  
 問3：今回の欠員選挙となりました。今後の議会改革について、考えをお聞かせください。

## 椋鳩十ものがたり 71

### 『椋鳩十全集』掲載作品

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

椋鳩十全集十四  
 「カガミジン」  
 昭和四十四年

「その一」

「クヌギの林である。クヌギの葉はすっかり落ちつくして、はだかの木になっていて、年老いた男が、その林の中にしゃがんでいた。年老いた男の前方には、イノシシが二頭、横たわっている。イノシシは、頭を、射ぬかれていた」

年老いた男から少しはなれて、七人の男たちが落ち葉の上にひざをついて、頭をたれていた。年老いた男は、イノシシの近くにいざりよった。

「イノシシ肉の分配がすむと、狩人たちはがやがやとしゃべりだした。じまん話をするのである」しゃべりながら歩いていくうちに丘の上でた。

「犬を連れて追わせてみることにした。犬は、すぐに足あとのにおいをかぎつけた。」「ワン、ワンと二声にないて、尾を上げしくふるのだ。そして、じつと源助じいの顔を見つめる… 命令をまっ

ることに耳を傾け、様々なことを一緒に考えていきたいと思ひ、立候補いたしました。

・リニア中央新幹線工事着工年となる今年、住民のみなさんが不利益を被ることはないか。注視しながら、開通後の未来を構想していきたい。

問3

休日夜間議会開催などの議会改革に取り組みたい。また、詳しい議会改革の内容については深く存じておりませんが、議員一人一人が、住民の皆さんに「議会のしくみ」や「議会の働き」を発信し続けること、関心を持って頂ける努力をし、住民の皆さんの声

問2  
 ・みなさんが不安に思っている家や暮らしが、それが、狩人たちの里である。里のものたちに、源助じい大きな声でよびかけた。「きょうの初矢(生まれてはじめてイノシシをたおした男のこと)は三吉じゃ。祝いの家元は、この源助じゃあ」初矢のものがあると、里中のものが、米とか酒とか野菜とか持ちよって、祝うのがしきたりになってた。

「源助じい、若く三吉に、特別目をかけていた。三吉を腕ききの狩人にしてやりたかった。三吉と二人だけでイノシシ狩りにやつてきたのもそのためであつた。」

「犬を入れて追わせてみることにした。犬は、すぐに足あとのにおいをかぎつけた。」「ワン、ワンと二声にないて、尾を上げしくふるのだ。そして、じつと源助じいの顔を見つめる… 命令をまっ

を生かした議会改革ができれば、良いのではないかと考えます。

・地域、各分野における担い手不足  
 ・ガイドウェイアド跡地活用による地域活性化  
 ・暮らしやすい道路、水路の計画づくり  
 ・児童、生徒の減少傾向における教育環境整備  
 ・上下水道の維持管理

問1

・安心な子育て環境づくり  
 ・多様な連携で創る共生社会による福祉の向上  
 ・皆が笑顔あふれる村づくりの実現のため、村政一五〇年記念事業を通して未来の基盤づくり

「丘をこえたところに、熊野山はあつた。…源助じい山をのりまわら、狩りの方法を考えた。」「源助じい、若く三吉に、特別目をかけていた。三吉を腕ききの狩人にしてやりたかった。三吉と二人だけでイノシシ狩りにやつてきたのもそのためであつた。」

「犬を入れて追わせてみることにした。犬は、すぐに足あとのにおいをかぎつけた。」「ワン、ワンと二声にないて、尾を上げしくふるのだ。そして、じつと源助じいの顔を見つめる… 命令をまっ

理由  
 ・村民の思いで創る未来の喬木村でありたい  
 ・暮らし続けたいと思える村を次世代につなげたい

抱負  
 ・安心な子育て環境づくり  
 ・多様な連携で創る共生社会による福祉の向上  
 ・皆が笑顔あふれる村づくりの実現のため、村政一五〇年記念事業を通して未来の基盤づくり

問3

議会の多様性を創出する環境は進んでいます。今後は村政により多くの方々に参加をお願いし、特に若い世代や子育て世代の皆さんのご意見が反映される環境整備を行い、そこか

「源助じい、若く三吉に、特別目をかけていた。三吉を腕ききの狩人にしてやりたかった。三吉と二人だけでイノシシ狩りにやつてきたのもそのためであつた。」

「犬を入れて追わせてみることにした。犬は、すぐに足あとのにおいをかぎつけた。」「ワン、ワンと二声にないて、尾を上げしくふるのだ。そして、じつと源助じいの顔を見つめる… 命令をまっ

ら若者や女性の活躍の場を広げたい。

・少子高齢化、人口流出等に伴う人口減少と地域経済縮小への対策。  
 ・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通による高速交通網時代を見据えた対応。  
 ・公共施設の老朽化への対応。  
 ・地域医療課題への対応。

問1

・少子高齢化、人口流出等に伴う人口減少と地域経済縮小への対策。  
 ・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の開通による高速交通網時代を見据えた対応。  
 ・公共施設の老朽化への対応。  
 ・地域医療課題への対応。

「源助じい、若く三吉に、特別目をかけていた。三吉を腕ききの狩人にしてやりたかった。三吉と二人だけでイノシシ狩りにやつてきたのもそのためであつた。」

「犬を入れて追わせてみることにした。犬は、すぐに足あとのにおいをかぎつけた。」「ワン、ワンと二声にないて、尾を上げしくふるのだ。そして、じつと源助じいの顔を見つめる… 命令をまっ

## あの時 この時

猛烈なゲリラ豪雨に襲われることが多くなった。降り出して数分で道が河川のようになったり、行き場を失った雨水がマンホールから噴水のように吹き出したりにしているニュースが頻繁に流れるようになった気がする。地球温暖化による異常気象が原因である。

「持続可能な開発目標」、SDGsという言葉が聞くようになった。横文字は分かりにくいけど、要は様々な意味で持続可能な社会をめざす取り組みを加速していくことだ。環境分野ではゼロカーボン(二酸化炭素排出実質ゼロ)を二〇五〇年までに達成することをめざす様々な取り組みが増えてきた気がする。エネルギー消費量を減らすことと再生可能エネルギー生産量を増やす両方向の取り組みが大事だと思ふが、我々が今すぐにも取り組めることは、エネルギー消費量を減らすこと、つまり、省エネな生活を心がけることだ。

一人での取り組みの成果は極僅か、塵のようなものだ。しかし、一人一人がゴミの削減などの地道なことにコツコツと取り組むことが、大きな目標を達成することにつながる。 (館長)

「犬を入れて追わせてみることにした。犬は、すぐに足あとのにおいをかぎつけた。」「ワン、ワンと二声にないて、尾を上げしくふるのだ。そして、じつと源助じいの顔を見つめる… 命令をまっ

下平 貢(55) 無・2期



・新型コロナウイルスによる経済活動への影響と生活様式の変化に対応した施策。早期平準化に向けた取り組み。

・令和二年七月豪雨災害からの復興

・人口減少社会に伴う各方面での担い手不足

・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道開通に向け、新しい時代に対応した地域作り

・公共施設の長寿命化対策

問2 一期四周年、総務産業建設常任委員長の任を頂き広範に亘り勉強させて頂きました。任期中は村を始め地域に対し何一つ功績を残せていなかったのではな

いかと自問しています。住民付託に少しでも応えられ

る様も一期チャンスを受

頂きたいと思ひ立候補しました。

・次世代を見据えた地域作り

喬木俳句会

文月句会詠草

梅雨明けや土の香運ぶ野良帰り 筒井 政美

夕焼けを背にして耕の手を止めず 宮島 高枝

七夏の短冊に込め老ひの夢 秦 恭子

山畑に採らず仕舞いの夏野菜 振り上ぐる鎌の光や夏の朝 村山たか子

・脱炭素社会に向けた諸施策

・防災・減災施策

・高速交通網時代に向けたインフラ整備

・産業振興施策

問3 欠員となった結果につきましては真摯に受け止めた

と思います。前期四周年の

数々の改革や提案が結果に

繋がらなかったことは残念

であります。決して無駄では

なかつたと思います。議員

のなり手不足の課題は、議会

のみの問題ではありません。

地域の皆様と共に解決しなければ

ならない問題だと認識して

います。先ずは、地域作り

を共に考えられる同志を募る

ことが大切で、ここで集まった

住民の集まりで議会を構成

できる環境整備が重要ではない

かと考えます。また、現在、

専業で議員を務められる環

境ではありませんが、兼業で

如何に議員活動や議会活動

を務めるかがポイントではな

いかと思ひます。議会として

は、役割分担をする中で地域

社会を構成していかねば

ならないと思ひます。その

うした観点からも、次なる

地域のリーダーの育成が急務

ではないかと考えます。

富田 共・2期

福澤眞理子(68)

問1 人口減少 少子化・村からの流出・高齢化・健康

寿命の延伸・農林業の後継

者不在、不足・田畑の荒廃化

それらを守ることは景観を

守り、災害防止に繋がる。防

災・減災の取り組みの推進

問2 決意の理由は、村民

の皆さんの身近な要求を

実現していきたいと思つた

こと。取り組みたいこと

様々な分野での女性の参画

子育て支援

元気なうちから介護予防

農業の再生、食の安全、小

規模家族農業を守ることに

と果たせるよう精進すること。

・議会、議員の活動について

より分かりやすい広報活動

を進める。

・議会の企画によるもの、ま

た様々な団体や小グループと

の懇談ができるよう働きか

けを行い、要望や課題の把握

に努め、議会を身近に感じ

てもらえるように努める。

・議員補欠選挙で議員定数

を確保し、本来の状態での議

会活動ができるようにする

こと。

問1 「産業の発展と充実」に

重点を置き「働く場と雇

用」を確保すること。

・「メガリージョンの新経済圏

の位置付けを、如何に優

利に村の発展に結び付けられ

るか。その政策と方向性を

今から準備を進め、具体化

すること。

喬木村の魅力を外に拡散

すること。

・「若者」が村に定着し「経

済的自立」「成婚」の自然

増が期待できること。

・「合計特殊出生率2」

以上を目指すこと。

問2

・決意の理由は「二期に臨

み、地域に拘らず、村の発

展のために働くこと。

・取り組みたいこと

①「働く場と雇用」を確保し、

村民の豊かさを実現すること。

②「定住率100%の村営

住宅」建設を実現すること。

③「農業と食料の安全・安

心」な暮らしの村づくり。

④「生涯学習の充実」公民

館活動の原点回帰と意識改

革に取り組み。

問3

・先ず、補欠選挙により議

員定数を必達し、今任期の

円滑な議員活動ができる体

制を取り戻すこと。

・次に、各種団体、地区懇

談会のほか、気軽に話がで

きる少人数グループと数名

程度の議員派遣による懇話

会を年間通じてどこでも開

催して、住民の皆様との関

係機会をより多く設ける。

・話題は住民の皆様の日常の

思いや提言、要望、苦情等

何でもありとする。その結

果を住民にフィードバック

する。議会は課題を検討し回

答する。住民に身近な議会、

親しまれる議会に努める。

・議会改革の枠組みに拘ら

ず肩ひじ張らず、関わる機

会を増やすこと。その後

に、本格的な改革を進める

ことが望ましいと思ひます。

後藤澄壽(74) 共・2期



・人口減少対策、移住希望者

に選ばれた村づくり

・増え続ける遊休地、空き

家対策

・Iターン、Uターンで喬木

村に来る若者の雇用など働

き場所の確保

・豊かな自然の中で将来喬

木村を担う子どもたちを育

てること

・医療介護公共交通機関の

充実した誰にとっても住み

やすい村づくり

問2

・村民の声を村政に反映さ

せることができたことと立

候補した。

・村内をできるかぎり回

つて、村民のみならずまの

声を直接お聞きし、その声

を村政に反映できるように

力を尽くす。

問3 志のある人に立候補

してもらうためには、村民

にとつて魅力ある議会づく

りが第一だと思う。

そのために、村民の声を聞

き、反映できる議会にして

いくように力を尽くしたい。

・議会議長の木下温司(74)

富田 無・3期

問1

・少子高齢化、人口の減少

に向けた対策。

・産業振興と経済の活性

化、高速交通網時代に向け

た取り組み。

・高齢者社会を生き抜くた

めの、共生社会の構築。

問2 後継候補の擁立に取

り組んできましたが、結果

選任に至りませんでした。

こうした中、もう一期との

声に押され立候補を決意し

ました。二期八年の経験と、

村のくりこんネットやイベ

ンプロデュースの経験を生

かし、リニア、三遠南信の

開通を控えた喬木村の将来

の為に村づくり、住民の福

祉向上へ向けた取り組みに

力を入れて行きたいと思

います。

問3 今回は定数割れと言

う結果、前回も告示ぎりぎ

りまで定数に届かずやと

定数に至った経緯もあり、

議員を目指す人材がなかな

か出てこない現状です。今

後、議会の必要性、議員の

活動状況など住民の皆さん

に知っていただく活動と、

各区の役員の方々と通

じ、今回の検証と、なり手

不足の要因について、調査

研究を行い、四年後に向け

た対応を考えていきたいと

思ひます。

・リニア中央新幹線と三

遠南信道の最大限の活用法

問2

・自分の思いの中に、ま

だやり足りないことがある

ように感じたため。

・喬木村が抱える重要課

題に、取り組みたい。

問3 誰もが議員に出られ

ることを目指して議会改革

に取り組んだことは、間違

いとは思われないが、取り

組んだ改革を、本来、住民

の皆様に向かつて発信すべ

きところ、その発信先を間違

えていたと思う。議員の思

いや、活動を住民の皆さん

にしっかりと伝え理解を得

るところから早急にすすめ

なければならぬと思ひ

ます。

毎晩毎晩、祈りながら騒

ぎながらオリンピックを見て

いる。庭の犬も落ち着かな

いことだろう。リモコン片

編集後記

一番感動したのは女子フ

ットボルの金メダルだろう

か。三十九歳の上野投手に

最後のマウンドを任せ、み

ごとその大役を果たした。

十三年間ソフトボールをやる

意味がわからずやめようか

と悩んだ上野選手。続ける

ことの価値を教えた麗華監

督。二人が抱き合い涙する

